

(議 題) 第 1 号議案 令和 6 年度(2024) 事業報告

日本国内における 2024 年度の観光は、訪日外国人旅行者数が前年度対比で 47, 1%増になり過去最多を更新しました。また、円安などの影響で、訪日外国人旅行者による年間消費額も過去最高を記録しました。そのような中、有名な人気観光地ではオーバーツーリズムになるなど、政府としても地方への誘客促進を重点政策として掲げました。併せて、航空燃料の供給不足問題で地方空港を中心に新規就航や増便が出来ない状況が起こり、政府としても燃料の安定的供給確保に向けて進めています。

尚、指宿市の観光についても、国・県・市の政策により少しずつではあるが以前の指宿に戻りつつあり、訪日・国内観光客についても、入国・渡航の規制緩和により以前の通りとはいかないものの、回復傾向にあります。また同様に観光業に限らず、日本国内では多くの飲食店など、あらゆる業種が厳しい状況乗り越えて、少しずつではあるが経済の回復が見られるように感じられます。

昨年度に引き続き、今後の観光業は、観光のトレンドが変化しており、マイクロツーリズム、ワーケーション、アウトドア等への関心が非常に高く、オフシーズンや密集しない観光地などへのニーズも高まりつつある。受け入れ側としても、これまで以上に地域全体での魅力向上を図ることが欠かせないと考えます。今後、指宿市としても天然砂むし温泉中心に、温暖な気候を生かした農産物、水産物など、多様な資源を再度見直し、指宿市観光・経済戦略会議を中心に官民の協力のもと有効活用していければと考える。

併せて、本年度も指宿市の 3 大スポーツイベントである「第 21 回いぶすきフラフェスティバル」「第 42 回いぶすき菜の花マラソン」「第 33 回いぶすき菜の花マーチ」も通常通り開催され、アフターコロナを見据えたな課題も見えたが、開催にあたっては出来る限りのおもてなしを第一に考え、参加者や指宿市民のご協力のもと全ての競技が円滑に進み成功裏に閉幕したのではないかとと思われる。今後も、時代に合ったイベントとして、より一層、皆様方のご指導、ご協力を賜りながら邁進して参ります。また、本年、フランス・パリを中心に開催された夏季オリンピックは、史上初めて開会式がスタジアム外のセーヌ川上で行われ、既存施設の活用や再生可能エネルギーの導入が図られるなど、環境に配慮した革新的な演出が注目を集める大会となり、世界各国に感動を届けました。

I 【公益目的事業会計】 (公益目的事業比率 56, 51%)

1・観光客の誘致促進事業

(1) 【観光情報誌等作成事業】 (公益目的事業比率 7, 07%)

コロナウイルス感染症以降、観光に対するトレンドが変化する中、政府の政策により訪日外国人観光客も増えてきており、指宿市の観光情報についても再度見直し、観光客のニーズに合った観光情報誌や観光マップを今年度も観光客や滞在客に対する観光の「道導(しるべ)」として発刊し、旅行エージェント訪問や観光PRキャンペーンを行い、ウィズコロナに向けての観光客誘客に取り組んだ。また、観光PRの方法も時代に合った方法としてホームページやSNS等を活用し、リアル(旬)な指宿市の観光情報や魅力を国内外に広く情報発信し、観光客誘致促進を図った。

◆観光情報の発信

今年度に於いても時代に合った情報発信として、SNS等（Instagram／Facebook／X）を活用したPR活動を行った。

◆観光情報誌及び市街地イラストマップの作成

市街地イラストマップ（令和7年3月）日本語（50,000部）英語（5,000部）
観光情報誌「アロハ通信 No.53号」A5版（令和7年3月）30,000部

（２）【指宿観光宣伝誘致促進事業】（公益目的事業比率 6, 41%）

今年度の指宿観光セールス事業も、昨年度に引き続き、観光誘致委員会を活発に開催することで、昨年度の反省を生かして、主要都市の旅行会社やマスコミ等の訪問を中心に情報発信や指宿の観光PRを行うと共に、動画による情報発信や、広告の掲出等も実施した。セールスに関しては、その他の事業などと併せることで最良のタイミングで実施でき、旬な指宿地域の情報をPRでき大変有効であったと感じた。併せて、イオンモール鹿児島に於いて「まるごとかごしまフェス」に参加し、指宿の観光PRを行う事で、茶節、オクラ、菜の花漬けの等のふるまいや、指宿の特産品の販売など行い鹿児島県内の各市との連携を図った。

このことから、実際に現地へ出向いて人と人との交流が出来たことは、観光セールスとしては勿論、データからだけでは見えないとても重要な事であると感じた。

今後もアフターコロナを見据えた観光誘致活動は、国内の観光地の地域間競争が予測されると考える事から、観光誘致促進が不可欠であり、引き続きSNS等を使ったPRや情報発信はもとより、新型コロナウイルスの影響により旅行形態が変化していることを踏まえて、今までとは違った観光素材の発掘やブラッシュアップを行い、いち早く行動に移せるように努めます。

（３）【エージェントとの連携による長期滞在型ツアー等の推進】

エージェントと連携したツアー滞在型企画として「あったか指宿・霧島温泉」長期滞在の旅を実施し非常に高い評価を得た。次年度も造成していただくようエージェントに働き掛けていきたいと思います。

また、エージェントとの連携において本市及び周辺観光地での魅力が検証できたことにより、時代に合った観光推進やマイクロツーリズムの提案を進め、新しい観光のスタイルを推進した。

併せて、安心安全で持続可能な観光地や景観を活かしたワーケーションを活用した観光の推進やマイクロツーリズムの推進に努めた。

また、エージェントと連携して、世界唯一の砂むし温泉を利用した指宿の文化と歴史、並びに素材を生かしたツアーの造成を行い、アフターコロナを見据えた観光PR素材として生かしていければと考える。

２・受入体制の整備

（１）【広域観光の連携】（公益目的事業比率 1, 78%）

①各種広域観光並びに体験事業の推進（南薩地域／大隅／屋久島／錦江湾地域）

本年度も鹿児島県で取り組んでいるサイクルツーリズムは県内の観光地を巡るコース設定が行われSDGsを取り入れた新たな観光戦略となってきたことから、本市としても密に連携を図り、新たな観光スタイルとしてのサイクルツーリズム推進に努めた。特に池田湖、知林ヶ島、

長崎鼻、開聞岳などの自然は依然として人気の高い観光資源となっていることから情報誌にピックアップして情報発信を行った。

また、「いぶすき広域観光推進協議会」では、南九州市、南大隅町と広域連携を図り、昨年度より新たに加入した錦江町も加わり、より一層、薩摩半島と大隅半島の「山川・根占フェリー航路」などを利用した広域観光の促進を図るよう努めた。また、関連事業として取り組んでいる「環錦江湾連絡観光会議」も各地に於いてワークショップや、各種体験事業等を開催し親睦を深め、錦江湾を囲む各地域の連携を図った。

受入対策事業としては、例年行われている「菜の花植栽のセレモニー」は悪天候のため中止となったが、南九州市でのヒマワリ・菜の花の植栽、南大隅町での佐多岬マラソンへの補助や、錦江町での観光地のライトアップ事業の補助を行うなど受入態勢に努めると共に観光情報発信に努めた。その他、広域的連携事業としては、薩摩・大隅半島を繋ぐ周遊観光促進事業（大隅広域観光開発推進会議との連携事業）連携を図り、「ぐるっと満喫！ドライブスタンプラリーVI in 指宿・南九州・大隅」を行った。さらには、種子島・屋久島への着地型観光の拠点づくりとして、積極的な観光受入の体制強化を図った。

②体験型観光推進事業（公益目的事業比率 3, 58%）

本年度も昨年に引き続き、南薩地域の滞在型観光の推進を目指し、指宿を拠点とした南薩地域への周遊性の高い新しい旅行形態の開発や、ワーケーションと言った新しい旅行形態などに即した、少人数・個人型体験プログラム開発のために広く観光客への周知を図り、誘客を進めた。

このことにより、滞在型観光推進を図りつつ、各種データ、観光客からの意見を集約し、多様化と変化する観光客のニーズに対応すべく体験プログラムメニュー開発に努めた。

〔既存の極上体験プログラム数〕

指宿砂むし温泉／温泉：1 グルメ：8 体験：9 特産品：7 合計：25

（２）【海外誘致（インバウンド）対策／観光案内／プラットフォーム事業】

観光案内所整備促進事業（公益目的事業比率 19, 53%）

海外からの観光客は新型コロナウイルス感染症の影響で激減しましたが、国による規制緩和などが進む中、少しずつ戻ってきている外国人对応もきめ細やかな接客に取り組み、それぞれの観光客のニーズに合った案内をすることが出来た。本年度は主要都市の国際線ターミナルの開港も始まり徐々に訪日観光客も増えてきており、県や観光連盟などとコロナ収束後の今後の動向を見極めながら誘致対策に取り組みました。また、オンラインを使った海外への観光情報の提供及び観光コンシェルジュによる案内所のサービス向上に努めるなど、インバウンド対策に係る関連団体（JNTO 等）と連携し、海外誘致の強化・推進に取り組んだ。

その他、JR指宿駅構内にデジタルサイネージを設置したことにより、アフターコロナに向けた国内観光客並びに訪日観光客へのサービス向上を図る事で、旬な情報をいち早く提供することが出来た。

【観光案内事業】

①指宿市総合観光案内所（JNTO認定）／配置人員数：4人（2名ずつの交代制）

営業時間：9：00～17：00（年中無休）国内旅行業務取扱管理者2名

②砂むし会館「砂楽」内観光案内所／配置人員数：4人（1日2名ずつの交代制）

営業時間：9：00～21：00（年中無休※但し、砂楽メンテナンス時は休館）

③指宿ビジターセンター内観光案内所／配置人員数：7人

営業時間：9：00～17：00（12月29日～1月3日まで休館）

業務内容：観光情報提供、公共交通機関情報提供、宿泊施設情報提供及び予約サポート、
各種クーポン発券、レンタサイクル貸し出し、手荷物預かり及宿泊施設届け
情報誌・マップ等の発送、その他観光案内に関する業務

【プラットホーム（山川・根占航路推進含む）整備促進事業】（公益目的事業比率 3, 05%）

本年度のプラットホーム整備促進事業は、いぶすき広域観光推進協議会との連携を図り、山川根占航路間の船を使った安定航路確保と流通経済、広域観光を目的とし、薩摩半島と大隅半島の広域事業として取り組み、県内を中心とした不特定多数の方々へ周知を図った。

「夢たまプロジェクト事業」はJR指宿枕崎線利用促進を図る為の事業として、今年度はJR九州と南薩4市で協力し「JR西大山駅」などの草刈りや清掃作業を行った。また、指宿商業高等学校と協力して指宿駅でのふるまいなど、南薩が一丸となって、「おもてなし」の心を忘れずに、広域で連携して行うことで、利用者や指宿市民に元気を届ける事が出来た。併せて、沿線上の住民はもとより、各市の住民の方々へ、市民や観光客の足としてのJR指宿枕崎線への関心を持っていただけるよう利用促進を図った。

（3）【イベントの取り組み】（公益目的事業比率 11, 47%）

国内でも知名度の高い大会として、マラソン・マーチ・フラのイベントは、本市にとって欠かせないイベントになっています。今年度は必要な感染症対策を取りながら本来の大会を開催することが出来ました。マラソン大会に於いては、天候にも恵まれて、昨年度から開催している12kmのファンランニングを継続し、フルマラソンだけではない大会として高評を得ました。それぞれのイベントにおいて、様々な課題が見えてきたことは、これをきっかけに、時代に即した運営の見直しが出来たのではないかと感じました。令和7年度の大会は、今年度の反省を踏まえて、更に今まで重ねてきた経験を生かして、指宿市民や参加者の皆様へ元気を届けられるように進めてまいります。併せて、いぶすきの秋の風物詩として定着し、当協会が携わっています指宿温泉祭も通常開催ができ、花火大会に際しても、昨年同様、建設が進む指宿港海岸を中心に開催し、指宿市民に元気を届ける事が出来た。また、はんや踊りも約2,300名の踊り手が参加し、指宿のまちに賑わいが戻ったと感じた。

最後に、各種イベントが本市の地域振興にとって必要と改めて肌で感じる事が出来た事を生かして、今後はイベントを通じて指宿市の魅力等も発信して行けるように取り組んでまいります。

- ・第21回 いぶすきフラフェスティバル【2024年6月7日（金）～9日（日）】
- ・第42回 いぶすき菜の花マラソン大会【2025年1月12日（日）】
- ・第33回 いぶすき菜の花マーチ【2025年1月24日（金）～26日（日）】

（4）【地域内の環境美化に対する助成事業】（公益目的事業比率 2, 00%）

「地域内の観光美化に対する助成」は、指宿の玄関口ともいえるJR指宿駅に乗降する観光客、市民のために、駅構内、駅トイレ、駅周辺の美化清掃に努め、清掃員を雇用する等の事業を行う

「指宿駅周辺を明るくきれいにする会／事務局：ＪＲ指宿駅」や、年２回クリーン指宿を制定し、市民に呼びかけ、指宿市内の清掃美化に努めました。

また、様々な活動等に対し、助成金を拠出し、指宿市の美化活動の協力にも努めました。

その他、指宿駅前の「足湯」の清掃活動を各種団体が当番月を設定しており、本年度の指宿市観光協会は６月が担当月である事より、職員全員で指宿駅前の美化活動に取り組んだ。

（５）【地区別宿泊統計事業】（公益目的事業比率 １， 62％）

本市の大手宿泊施設１３社を対象に月別の地区別宿泊客統計を取りまとめ、統計として閲覧できるようにすると共に、各種キャンペーン等の際に基礎データとして使用し誘客を図り、南薩地域振興局とも連携を取り、最近の観光に関する意識の分析など、今後の観光戦略を繋げた。

「地区別宿泊統計」は、当観光協会自主事業で、市内に点在する宿泊施設約５０事業所のうち、主要なホテル、旅館等１３社から毎月の情報が提供され、地域の観光動向として取り纏めを行っている。本年度もこの調査結果については、理事会で直近月の数字を報告。定期総会では総会資料に年間対比及び年度内の月毎の数字を掲載し、要望があれば、当観光協会事務局にも総会資料を据え置いているので、会員・非会員問わず閲覧ができ、当観光協会ホームページ上にも公開しているので、不特定多数が見ることができるよう努めました。

（６）【指宿市観光ビジョンの取り組み】

本年度で３年目を迎える「指宿市観光ビジョン」は本市観光の活性化と観光消費額の拡大を図り、豊かな観光資源を活かした持続可能な社会の実現を目指していくため、人口減少や新型コロナウイルス感染症の拡大等により刻々と変化する環境に対応しながら、市民・事業者・行政が一体となって取り組むべき観光振興に関する政策の方向性を明らかにし、その実現に向けた指針となるよう新たに策定されています。本年度も引き続き、指宿市観光・経済戦略会議を中心に当協会としても関係各所と協力して実現に向けて取り組んでいます。

Ⅱ【収益事業会計】（事業比率 29， 43％）

１【財政の健全化に伴う事業運営のスリム化】

本年度も当観光協会の財源については公益事業を支えるための収益事業として、指宿駅構内や砂楽内の土産品販売「ふるさとショップ売店」や指宿駅構内案内所でのレンタル電動アシスト自転車、手荷物送り等の有料サービスによる収入確保に努めてまいりました。

また、一般客はもとより、エージェントと連携して「いぶすき極上体験プログラム」を、お得感を感じて楽しめるチケットとして販売促進を図り、自主財源の確保を進めてまいりました。

その他、ポケモンマンホールグッズの販売だけではなく、キャラクターグッズ販売大手のビレッジバンガードコーポレーションとの連携を図りつつ、新たな収益事業として、取り組むことで、収益だけではない観光客の新たな販売ツールとして提供できたことは公益性の高い事業であると感じることが出来た。今後も当観光協会の財政の健全化を図る為に、あらゆる可能性の構築を行ってまいります。

◆指宿市総合観光案内所【クーポン等発券事業】年間収入：1,254,047円

◆ふるさとショップ【土産品販売事業】

指宿駅 年間収入：5,401,511円 / 砂 楽 年間収入：12,171,627円

Ⅲ【その他事業会計】（事業比率 7,00%）

1【公園管理事業（指宿市指定管理事業）】

「セントラルパーク指宿」の指宿市指定管理者として、新型コロナウイルス感染症の影響により公園を定期的に利用されるグラウンドゴルフ愛好者が感染予防の為、使用を控える傾向にあったが、感染レベルの引き下げ以降グラウンドゴルフ愛好者が使用する頻度が多くなった。また、休日になると家族連れや子供が公園内でくつろぐ風景が見られ公園としての機能を十分に果たせたと感じます。特に東京オリンピック開催以降、スケートボード人気は未だに続いており、大勢の学生や社会人の公園使用が見られた事から、今後も使用しやすい公園整備に努めます。

併せて、例年メイン会場として使われている第77回の指宿温泉祭も従来の本格開催となり、本来の夏の風物詩としての活気が戻ってきたと感じた。また、ハンヤ踊りは約2,300名のお踊り手が参加し、本会場でのステージイベントや神輿渡御、花火大会も従来通り開催することにより、指宿市民に元気を届ける事が出来た。

今後も、観光客にはビジターセンターとして、地元市民には公園でくつろぐ機能、温泉祭等のイベントによる会場活用を複合的に持った公園・管理棟としての運営になるよう努めます。

Ⅳ【法人会計】（事業比率 7,06%）

1【法人会計・組織】

協会役員（理事・監事・顧問）による理事会を定期的に行い、専門委員会の活動強化を図ったことで、会員への情報発信、県・市等の関係団体との連携により円滑な事業運営を図ってまいりました。

また、理事並びに職員を各自適正部署に配置して、受け入体制の構築を行い、組織としての充実を図りました。

併せて、南薩4市で情報の共有を行い、県（南薩地域振興局）も含めて協力体制を構築できたと考えます。

Ⅴ【その他】

最後に、令和5年5月に新型コロナウイルス感染症レベルが引き下げられ、訪日・国内の観光客についても活発な移動が見られることより、国内外の情勢を注視しながら、市民一体となった街の活性化に取り組み、今後、世界情勢などを見極めながら速やかに行動が出来るよう計画し、これまで以上に関係団体や会員の皆様方のご理解、ご協力を仰ぎながら観光地「いぶすき」の発展の為に邁進していきたいと考えております。

また、各種イベントに関しましても時代に合ったスタイルで参加者の心に残るようなイベントになるように指宿を盛り上げていきたいと思います。